

2016年

5月

中国四国農政局
香川支局

News Letter

絆 — 次世代へ伝えたい さぬきのふるさと料理 ～ 郷土料理冊子を出版 十川時子氏 ～

昨年12月、「和食：日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録され、国内はもちろん世界からも和食が注目されています。しかし、生活環境の変化やライフスタイルの多様化などにより、私たちの暮らしの中で生まれ引き継がれてきた行事食や郷土料理などの食文化も変わりつつあります。

今回は、「さぬきのふるさと料理」の傳承に取り組む郷土料理研究家、高松市国分寺町の十川時子さんを紹介しします。

県農林部の職員として40年に渡り「食」に携わった十川さんは、退職後は県立農業大学校の非常勤講師として学生を指導するほか、郷土料理研究家として各地で開催される料理教室やイベントなどで郷土料理や地産地消、食育の大切さなどを紹介しています。

また、本年4月には、JA香川県の広報誌に2年間連載された「さぬきのふるさと料理」をまとめた冊子「次世代へ伝えたい さぬきのふるさと料理」を彩りも美しく出版されました。この冊子では、23種類の郷土料理の傳承された背景や作り方、四季折々の旬の食材を使った地産地消料理、郷土料理の傳承に関する調査結果の資料のほか、料理に対する十川さんの思いなどが掲載されています。

十川さんは、「香川県は、温暖な気候と豊かな自然環境に恵まれ、ばらずしや手打ちうどんなど数多くの郷土料理があります。郷土料理は、ふるさとの風景とともに家庭の愛情が育まれていて、いくつになってもその料理の懐かしさが生きる力を育み、心に包み込まれた宝物であり、家庭の味として次の世代へ傳承していきたいと思います。」と熱い思いを話されています。



十川時子氏



この春 出版された冊子

今後伝えていきたい郷土料理 ベスト3 (H24年調査)

(「さぬきのふるさと料理」から)

1位



あんもち雑煮

2位



しょうゆ豆

3位



まんばのけんちゃん

6次産業化交付金を活用した

”たまご”と”たまごスイーツ”のお店がオープン

三木町の農事組合法人東山産業では、6次産業化ネットワーク活動交付金を活用し、加工・販売施設「danran（だんらん）」を建設しました。

営業開始に先立ち、関係者を招いた内覧会が5月17日に行われました。

同組合では、ヒナからパック詰めまでの一貫生産により、安定した品質の鶏卵を出荷しています。ある取引先から「洋菓子に最適」との評価を頂いたことから、自らも生菓子、焼菓子などの加工品の開発・製造に取り組むこととしたものです。

内覧会では、事業概要の説明の後、プリン、シュークリームなどの新商品の試食や施設内の見学などが行われました。



加工・販売施設「danran」



新商品の生菓子

「国や県から補助金が得られる」として

農業施設への投資の勧誘にご注意！！

最近、「農業施設の導入に対して国や県から補助金が得られる」「補助金の申請は代行する」など、投資を勧誘する事案が発生しています。

農林水産省の補助金等は、実際に支援を受ける方が市町村や県、国に対し申請することが原則です。第三者が補助金等の申請の請け負いや代行を勧誘することは、通常ありません。「新規就農すれば年間〇〇万円もらえる」、「園芸ハウスに投資すれば儲かる」、「国への補助金申請は代行する」といった勧誘には、十分ご注意ください。

また、このような勧誘を受けたり耳にした場合は、香川支局または市町の農政担当者まで速やかにご連絡願います。



「逆引き事典」を刷新しました



農林水産省は、ホームページ上で農林漁業者が利用できる事業等の情報を検索できる「逆引き事典」を刷新し、これまでの「補助金」に加え、「融資」「出資」「税制」「優良事例」を検索メニューに追加するとともに、検索結果を横に並べ、概要を比較できる機能を追加しました。

<https://www.gyakubiki.maff.go.jp/>